

会議録（会議結果概要）

名称	第5回 各務原市総合計画審議会
開催日時	令和6年2月2日（金） 9：30～11：40
開催場所	各務原市役所 本庁舎 4階会議室4-3・4-4
出席者	<p>北角浩一会長、富樫幸一副会長、柴崎建委員、阿部雄介委員、井戸輝雄委員、宇野貴昭委員、可兒正則委員、近藤亜矢子委員、篠田勲委員、中野正勝委員、森田宏委員、和智陽子委員、河合正嘉委員、五明竜也委員、鶴飼明男委員、江口佑美委員、亀井篤委員、林佳廣委員、別宮理恵委員</p> <p>※欠席者：平野華織委員、酒井聡委員、福島茂委員、松浦知恵委員、横山浩之委員、吉田明弘委員</p>
議題及び審議・協議結果等の概要	<p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期総合計画前期基本計画策定に係る市民ワークショップ等について (2) 次期総合計画前期基本計画策定スケジュールについて (3) 現総合計画（後期基本計画）の総括について 3 その他 4 閉会
	<p>1 開会 事務局より説明</p> <p>【会長】 基本構想は、12月の市議会にて決議され、完成となりました。 前回の審議会では、基本計画の検討につなげることも念頭にグループ対話形式で行いました。本日は次の基本計画のベースとなる現在の後期基本計画の総括として37施策を振り返り、ご確認いただきたいと思う。</p> <p>2 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期総合計画前期基本計画策定に係る市民ワークショップ等について (2) 次期総合計画前期基本計画策定スケジュールについて <p>《事務局より説明》</p> <p>資料1 次期総合計画前期基本計画策定に係る市民ワークショップ等の概要について</p> <p>資料2 次期総合計画前期基本計画策定スケジュール</p>

《質疑意見》

【会長】

ご質問などないようですので、この内容についてはご確認いただいたということに進めたいと思う。

(3) 現総合計画（後期基本計画）の総括について

《事務局より説明》

資料3 現総合計画（後期基本計画）総括シート

- ・総括表の見方、将来フレーム
- ・基本目標1から基本目標3までの総括

《質疑意見》

【副会長】

- ・抽象的な表現となっているので、数字、文字等だけではなく、例えば自治会センターの報告書、産業振興ビジョンなどのように、自治会やまちづくりの助成、暮らし委員会の活動などについて、写真、絵等で、どのようなことが行われて、どのように進んでいるというイメージが、市民や各務原に移住希望者にも分かるようなものを次の計画に入れていってほしい。

【委員】

- ・文化を通したまちづくりを、市民会館や文化会館を活用して市民に広報もし、発展させていきたい。
- ・市の教育委員会とも連携し、クラシックバレエなど、子どもが芸術鑑賞できる機会をつくっていききたい。行政、市民も協力をして文化を発展させていきたい。

【委員】

- ・メディアとしての課題は3つある。高齢者の体験談の記録などによる平和への継承、文化財等のAR等デジタル技術を活用した記録、ホッケーなどのスポーツのPRなどに取り組み、メディアとして各務原を盛り上げていく必要がある。

【委員】

- ・子ども館の先生に母親同士をつないでもらえており、コミュニティができているのでありがたい。
- ・母親たちが悩んでいることなどの現場の声が届くヒアリングをやっていただけるのはありがたいので、数多く実施してほしい。
- ・外国人の人権・平和で、言葉の壁などによる問題などに対して手助けできる活動があればよい。
- ・外国籍の子どもに対し、学校などの教育機関で外国語が活用できる人のサポートがほしい。

【委員】

- ・先生の負担が多くなっていると思うが、不登校や支援が必要な子ども1人ひとりを見逃さないためには、地域のいろいろな団体、近所の人との関わりが不可欠である。
- ・学校や青少年教育の分野に関しては、地域の関わりが大きいので、各種団体をはじめ、子どもに関わってくれる大人をどう増やしていくかが課題だと思う。
- ・教育の分野でも、芸術や、地域の人が学んでいることを子どもに見せて、経験させる機会を増やしてほしい。
- ・子どもに関わってもらえる大人を増やしてほしい。

【委員】

- ・基本目標の1-2の「自治会・広報活動」で、小売業者が減少し跡継ぎの方がなく、サラリーマン化している状態で、消防団の部員、各自治会の役員のなり手がなくて、消防団について市には活動内容を変えてほしいと要望している。
- ・自治会活動も同様で、若い人の積極的な参加を促す施策を連合会でも考えていく必要がある。
- ・春の祭りなども親世代からは煩わしいという意見があり参加してもらえないこともある。難しい時代になってきている。

【委員】

- ・「重要度」はどのように決めているのか。

【事務局】

- ・「重要度」と「満足度」は市民意識調査の設問項目として設定しており、どちらも市民が感じる重要度と満足度となっている。

【委員】

- ・人口が多い高齢者に関連する施策や高齢者が望んでいることの方が、重要度が高くなってしまふ可能性はあるのか。

【事務局】

- ・年代的な違いまでは分からないが、対象者3,000人に対して1,000票ぐらい返ってきており、おおむね市民の傾向なのかと考えている。

【委員】

- ・様々な会議でそれぞれの委員の皆さんが熱い思いを持って意見を発言されているが、その後の発展が無く、その会議の場だけで終わっている。その意見から具体的な活動等につなげていく姿勢をもう少し見せていただきたい。
- ・生涯学習の在り方も変化してきている。現在では、動画等で様々な講座が受けられる環境が整っている中で、行政がどれだけ生涯学習に力を入れるかを考えなければならない。生涯学習が自助で担えるのであれば、公助や共助は、自治会活動などの社会の中での困りごとについて、皆で学び合って変えていく方向に変えていけないかと思っている。

【委員】

- ・ 11ページの「コミュニティ・スクール事業」や13ページの「放課後子ども教室事業」などに、次の世代の人が興味を持って参画してもらえる仕組みや仕掛けが必要であり、どのようにつないでいくかを考えていかなければならない。
- ・ 市で施設が整備された後は、自分たちで維持しているのが今の学校の現状であるが、整備段階でその後の運営も含めて考えていけると、より良い環境が整っていくのではないかと。
- ・ 子どもだけではなく広く一般市民にも情報モラルを学ぶ機会や知識を与える仕組みができると有効である。
- ・ 各団体で今後はどのように進化していけばよいのかを一緒に考えて進めていくとより良いまちになるのではないかと。

《事務局より説明》

資料3 現総合計画（後期基本計画）総括シート

- ・ 基本目標4から基本目標6までの総括

《質疑意見》

【委員】

- ・ 従来からの課題をどのように解決するかを本委員会で共に検討しながら、福祉の分野別計画にも反映したい。
- ・ 市民からの意見に市は柔軟に対応していると感じており、その点を市民にもアピールする必要がある。

【委員】

- ・ 「防犯活動の推進」では、防犯カメラの設置など補完する部分も推進してほしい。
- ・ 交通安全では、ソフト面だけではなく、歩道での安全確保のため、歩行者と自転車と同じ歩道内で分離通行できる幅員を確保するなど、道路環境に配慮してほしい。

【委員】

- ・ 「高齢者福祉」では、「老後も安心して暮らせると思う市民の割合」を高める必要がある。
- ・ シニアの層は増えているのに、シニアクラブの会員数は減少している。何とか維持していきたいが、単純な勧誘ではなかなか増やすことはできない。昨今の働き方改革で70歳ぐらいまで働いている状況というのも影響していると感じる。

【委員】

- ・ 市内でも高齢化の進行具合等において地域差があるため、市として進めていき

たい方針等についてはこのような場で決めてほしい。

- ・働いている人が団体に参加しやすい環境を整える必要がある。地域の状況により会議を夜に開催するなど開催時間なども考えていかなければならない。
- ・団体の活動としては、自治会、子ども会に皆が加入しているのが望ましい。

《事務局より説明》

資料3 現総合計画（後期基本計画）総括シート

- ・基本目標7から基本目標9までの総括

《質疑意見》

【委員】

- ・神社仏閣の祭りなど積極的な活動は行われているが、航空宇宙博物館、岐阜県世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ等、他にはない施設もあるが情報発信が弱い。
- ・情報発信の方法の工夫や、ビジネスの視点だけではなくまちづくりとして、誇れるまち、さらに市民への知名度も上げ、移住・定住にも貢献できる観光になっていかなければいけないと感じている。

【委員】

- ・「評価」は、例えば広域連携とも関連するが、他自治体と比較する観点も取り入れられたらよいのではないか。
- ・地域特性があるので、市全体と地域に分けて課題を記述できるとよい。

【委員】

- ・祭りの開催などでは、労働者も含めた巻き込みが必要である。
- ・ものづくりのまちとして、市内に立地する技術が高い中小・零細企業に、学生等が気軽に訪れ相互交流できる場所があると、各務原で働き、住む流れもでてくるのではないか。

【委員】

- ・DX化により、民間企業では紙使用量や労働時間の減少、効率化に効果が明確に出ているため、行政にも積極的に取り組んでほしい。

【委員】

- ・新規就農を支援していくとともに、今後農業法人の立ち上げが主になってくる点を加筆してほしい。
- ・スマート農業に向けて、基盤整備の中に大区画化、広区画化の考え方をに入れてほしい。
- ・農地の保全の関係で、集約化などでは、多面的機能支払交付金の制度等を使い、地域の力を発揮してもらう必要がある。
- ・ブランド化を進めるため、にんじんとともに御膳粍の話も記述がほしい。

	<p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材不足が重大課題で、各務原のブランドカアップや大手との給与格差について、市の策を出してほしいと思う。 ・従来の方法での団体の活動等の維持は無理が生じているので、新しい方法や考え方での試行が必要になる。 <p>3 その他</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議の日程は、4月23日火曜日の13時半から2時間半程度で、場所は本日と同じ会議室での開催を予定している。 ・次回は、主に基本計画の骨子について予定している。 <p>4 閉会</p> <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって第5回各務原市総合計画審議会を終了する。
<p>会議資料</p>	<p>資料1 次期総合計画前期基本計画策定に係る市民ワークショップ等の概要について</p> <p>資料2 次期総合計画前期基本計画策定スケジュール</p> <p>資料3 現総合計画（後期基本計画）総括シート</p>
<p>備考</p>	